

**東谷北企業団地適地検討業務**  
**公募型プロポーザル 設計候補者選定評価基準**

## 1. 目的

この「東谷北企業団地検討候補者選定評価基準」（以下、「評価基準」という。）は、雲南市土地開発公社が東谷北企業団地の実施を検討するにあたり、公募型プロポーザル方式により設計候補者を選定するための基準を示すものです。

## 2. 選定委員会

設計候補者の選定は、「雲南市プロポーザル方式受注者選定委員会条例」に基づき、東谷北企業団地検討候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）で行うものとします。

## 3. 参加表明書等にかかる審査

参加表明書等の審査については、技術提案書提出者の選定基準（別紙1）において評価し、資格要件を満たす者の中から、評価得点上位5者を選定するものとします。また、評価点数が同点の者が複数の場合は、同種業務実績の点数及び記載を求める担当技術者の同種業務実績件数を勘案のうえ5者程度を選定するものとします。

## 4. 技術提案書にかかる審査

技術提案書の審査は、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、技術提案書にかかる評価項目及び評価事項等（別紙2）により、各選定委員会委員（以下「選定委員」という。）ごとにプロポーザル評価書（採点表）（別紙3）（以下「採点表」という。）及び企業の総合評価（別紙4）（以下「総合評価書」という。）を作成するものとします。

なお、プレゼンテーション及びヒアリングの実施順序については、雲南市土地開発公社が参加表明書提出順に抽選を行い決定し、スケジュールについては技術提案書提出者に別途通知するものとします。

各選定委員が作成した採点表の評価点の合計を設計者ごとに集計し得た評価点及び設計者の総合評価を勘案して、最優秀提案者1者と優秀提案者1者を選定するものとします。加えて、審査講評を作成するものとします。

なお、各選定委員において評価された個別の採点表及び総合評価書については、非公開とします。

## 5. 結果の公表

選定結果は、プレゼンテーション及びヒアリング参加者に対しメールで通知するとともに文書にて通知します。

## 6. 業務委託

雲南市土地開発公社は、4における選定結果を踏まえ、最優秀提案者と契約交渉を行い設計業務にかかる委託契約を締結するものとします。ただし、不調となった場合は、優秀提案者と契約交渉を行うことができるものとします。

## 技術提案書提出者の選定基準

## 1) 企業を評価する項目

評価項目	評価の着目		評価点		
			点数	数	合計点
(1)業務遂行力	①専門分野の技術者数	技術士（総合技術監理部門）	5		
		技術士（都市計画及び地方計画）	3		
	配点（20点満点）				
	②同種業務実績	1 業務当たり	4		
	配点（20点満点）				

## 2) 担当技術者を評価する項目

評価項目	評価の着目		評価点		
			点数	数	合計点
(2)担当技術者の技術力					
管理技術者の技術力	①同種業務の実績	1 業務当たり	5		
	②保有資格	技術士（総合技術監理部門）	5		
		技術士（都市計画及び地方計画）	3		
	③実務経験年数	10 年以上	2		
		5 年以上 9 年未満	1		
	④技術士 CPD 取得単位数	50 単位以上	3		
		20 単位以上 50 単位未満	1		
	配点（30点満点）				
担当技術者の技術力	①同種業務の実績	1 業務当たり	5		
		技術士（都市計画及び地方計画）	5		
		RCCM（都市計画及び地方計画）	2		
	②実務経験	10 年以上	2		
		5 年以上 9 年未満	1		
	③技術士 CPD 取得単位数	50 単位以上	3		
		20 単位以上 50 単位未満	1		
	配点（30点満点）				

評価点数（100点満点）

## 技術提案書にかかる評価項目及び評価事項等

評価項目	
	評価事項
1. 業務実施方針、業務遂行体制に関する事項	
	どのような業務実施方針、体制で取り組むのか。 業務実施にあたりチームはどんな特徴があるか。
2. 業務理解度、適地選定にあたっての検討提案に関する事項	
	業務目的、与条件の整理等、業務内容が適切に理解されているか。 比較検討案の選定にあたって、技術的な観点（切盛バランスなど）と企業誘致の観点（誘致企業の業種及びそれ応じた分譲面積など）から適地選定の具体的な検討内容の取り組みについて提案を求める。
	事業実施にあたっての課題認識や課題に対する具体的な取り組み方法について提案を求める。
3. 実施手順、工程管理に関する事項	
	業務実施手順を示す実施フローの妥当性や工程管理に関する具体的な取り組み提案を求める。

## プロポーザル評価書（採点表）

選 定 委 員 名	
-----------	--

評 価 項 目	評 価 点 数				
	優秀	良	普通	やや劣る	劣る
1．業務実施方針、業務遂行体制に関する事項					
・業務実施方針、取組体制、チームの特徴	10	7	5	2	0
小 計	点／10点				
2．業務理解度、適地選定にあたっての検討提案に関する事項					
・業務目的、与条件の整理等、業務内容が適切に理解されたうえで、比較検討案の選定にあたって技術的な観点と企業誘致の観点から適地選定にあたっての具体的な取り組み方法	30	20	15	5	0
・事業実施にあたっての課題認識や課題に対する具体的な取り組み方法	30	20	15	5	0
小 計	点／60点				
3．実施手順・工程管理に関する事項					
・業務実施手順を示す実施フローの妥当性や工程管理に関する具体的な取り組み方法	30	20	15	5	0
小 計	点／30点				
評価総得点	点／100点				

※各項目とも該当点数に○印をつけ、小計欄に集計した上で、最後に評価総得点を記入してください。

# 企業の総合評価

No. 1

選 定 委 員 名	
-----------	--

[illegible]